

News Release



【参考資料】

※ 本資料は 2006 年 5 月 17 日にBASF本社が発表した情報の抄訳です。

2006 年 5 月 25 日

BASF、 ベルギーのバイオテクノロジー企業、クロップデザイン社を買収

- バイオテクノロジーの研究開発をさらに強化
- 農業的価値の高い形質の活用により、高収量のトウモロコシや大豆、ナタネを開発

BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)はこのほど、ベルギーのバイオテクノロジー企業、クロップデザイン社を買収致しました。クロップデザイン社は、BASF グループ内で植物バイオテクノロジーを扱う BASF プラントサイエンス社に統合されます。買収額等の詳細については、両社の合意により非公開です。

クロップデザイン社の従業員は、ベルギーのヘントにある研究施設(買収後は、BASF プラントサイエンスに所属)に引き続き勤務致します。

今回の買収により、BASF プラントサイエンス社の遺伝子研究活動が補完されるとともに、農業分野で重要な遺伝形質を活用する事業活動がより強化されます。クロップデザイン社は、農作物の収量拡大や耐干ばつ性の向上、トウモロコシやコメなどの栄養素の利用効率の向上などの形質に特化した企業です。形質とは、遺伝子によって発現する植物の特質で、植物バイオテクノロジーの商業化の基礎となります。BASF プラントサイエンス社では、消費者と環境に明らかなメリットをもたらす次世代の植物バイオテクノロジー製品を開発するという長期戦略を掲げています。

BASF は、増大する世界人口を支えるため、作物の収量の拡大が今後ますます重要になると考えています。今後 15 年で、世界の人口は、現在よりも約 15 億人も多い 80 億人近くに達すると予想されています。研究に 12 年から 15 年のリードタイムがあることを考えると、一刻を争う状況にあると言えます。

また、バイオフェューエル(生物燃料)やバイオポリマーなどの再生可能資源に使用される農作物が増えていることも、農業に適した土地が限られていることを考慮すると、今後の供給を逼迫させる原因になると考えられます。

農業的に価値の高い優れた形質をクロップデザイン社は取り揃えており、今後、BASF が持つ高収量な作物の製品パイプラインは大幅に強化されます。クロップデザイン社と BASF プラントサイエンス社の関連企業であるベルリンのメタノミク

BASF アグロ株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ
住所: 〒106-0032
東京都港区六本木 1-4-30
六本木 25 森ビル 23 階
TEL: 03-3586-9911
FAX: 03-3586-9710
URL: www.basf-agro.co.jp

ス社が持つスクリーニング能力を活用すれば、世界的にも類を見ない組み合わせのスクリーニング・パラメーターが実現し、また遺伝子試験の処理能力も大幅に向上します。この結果、高い競争力が継続的にもたらされ、植物バイオテクノロジーのマーケットリーダーとしての BASF のポジションを今後も堅持することが可能です。

クロップデザインにはコメ関連の遺伝形質についての知見があり、これも、BASF プラントサイエンスの遺伝子研究を強化するものと期待されています。この研究は、メタミクス社のメタボリック・プロファイリング技術を基礎としたものです。植物遺伝子一つひとつが持つ代謝機能を特定し、それを望ましい特徴を持たせた植物の開発に応用します。3 万種類もの植物遺伝子の代謝プロファイルがすでにデータベース化されていますが、これは植物バイオテクノロジー分野における BASF の他に類を見ない強みといえます。

BASF プラントサイエンス社とクロップデザイン社は 2005 年 12 月、すでにライセンスの使用と研究開発で広範な契約を取り交わしています。今回の買収により、この契約でカバーされていなかった形質や研究開発まで含めたクロップデザイン社の全てを BASF プラントサイエンス社が利用できるようになります。

■クロップデザイン社について

クロップデザイン社は世界の種子市場や植物由来の製品に各種形質を提供するバイオテクノロジー企業です。独自開発による TraitMill™プラットフォームを用いて遺伝形質を明らかにし、トウモロコシやコメなど、さまざまな植物の改良を進めています。1998 年に創立され、ベルギーのヘントにある研究所には 70 人を超える職員を有しています。また、研究開発や商業的利用についても、広範なネットワークを築いています。

■BASF プラントサイエンス社について

BASF プラントサイエンス社は BASF における植物バイオテクノロジー関連の活動を統括しています。同社は、欧州 4 カ国と北米の 7 拠点に 500 人以上の従業員を擁し、国際的に研究開発・技術開発拠点をコーディネートしています。欧州および北米のさまざまな研究機関、大学、バイオテクノロジー企業との共同研究も数多く推進しています。研究活動では、農業活動の効率性向上や身体に良い栄養素、植物由来の再生可能原料の製造等の分野に注力しています。耐干ばつ性の強い植物の開発などが例として挙げられます。また、循環器系の疾病予防に用いられるオメガ 3 脂肪酸やビタミンを大量に含む植物の開発なども行っています。BASF では、今後 3 年間で 2 億 7,000 万ユーロを投資し、植物バイオテクノロジー関連事業を拡大する計画です。

■BASF について

BASF (ビーエーエスエフ) は「ザ・ケミカル・カンパニー (The Chemical Company)」を標語に掲げる世界の化学業界のリーディングカンパニーです。約 8 万 1,000 人の従業員を擁する BASF は、2005 年度には 427 億ユーロを超える売上高を計上しました。

■本件に関するお問合せ

BASF アグロ株式会社

コーポレート・コミュニケーションズ 川端 TEL: 03-3586-9911